

資料の活用について

平成 30 年度の介護保険改訂に伴い、口腔の問題をヘルパーが見つけた場合、ケアマネジャーさんに報告した際、ケアマネジャーさんは、医師、歯科医師に報告することが義務付けられました。この中で、口腔の問題を利用者に説明することが難しいことが原因で、ケアプランに入れ込みにくいことから、説明資料の作成希望がありました。資料は、このまま利用者さんにお渡ししたのでは、理解が得られにくい部分もあることが予想されます。こちらの説明書きは利用者さんへの説明の際に、ご活用ください。

【義歯】

：在宅の利用者さんは、通院出来なくなると義歯を外してしまう傾向にあります。義歯を外すと、飲み込みにくくなる、奥歯のかみしめが無く転倒しやすくなるなど、デメリットが多くあります。また義歯の安定剤はネバネバしており、使った後にはがして洗うことは面倒です。使用した安定剤を十分洗浄せずに、安定剤の追加を繰り返して長く使用すると、右下部写真にあるように、腐ったような汚れた状況になる方もいらっしゃいます。義歯を上手く使用するためには、定期的なメンテナンスが必要だとの説明にご活用ください。

【肺炎】

：肺炎の原因は、右中央部写真にある、歯の表面に付着しているプラーク（歯垢）です。高齢者になると、このプラークを認識でき無い方もたくさんいらっしゃいます。下部にあるグラフのとおり、誤嚥性肺炎は口腔ケアで予防することが可能です。肺炎を繰り返している方には、歯科職種による専門的口腔ケアを行い、口腔の清掃を行うことをお勧めしています。プランに口腔ケアを入れる際の説明にご活用ください。

【口腔乾燥】

：利用者さんの訴えで一番多いのが口腔乾燥です。口腔乾燥の原因は、加齢による唾液腺の機能低下、薬剤の影響、ストレスなどがあります。重症の方には、歯科受診をお勧めしていますが、軽度の方で有れば裏面にある、唾液腺マッサージが有効です。

【唾液腺マッサージ】

：実際の唾液腺マッサージ方法について、ご説明しております。